

令和 5 年 度  
事 業 報 告



社会福祉法人

塩尻市社会福祉協議会

# 令和5年度 事業報告概要

## I 法人運営・総合企画

### 1 社会福祉法人としての公共性の確保

- (1) 社会福祉事業による公共性の高い経営を実施しました。
- (2) 経営の透明性・中立性・公正さを確保し説明責任を果たすため、ホームページや広報誌「社協しおじり」によるわかりやすい情報提供に努めました。また、職員提案によりSNS対策推進委員会を設置し、多様なツールを活用した新たな情報発信を進めました。
- (3) 塩尻市社会福祉大会を開催し、特別功労者、模範善行者及び福祉事業協力者への表彰状授与及び講演会を行いました。
- (4) 所属ごとに基本方針・目標及び重点施策・事業を明確にし、計画的かつ効果的な事業展開を図りました。
- (5) 理事・監事・評議員の任期満了に伴う改選により、新たな経営体制を構築しました。
- (6) 姉妹都市である静岡県袋井市の社会福祉協議会役員の本市来訪に合わせ、役員合同研修会を開催して情報交換及び交流を行い、役員としての知識の習得、資質の向上を図りました。
- (7) 県社協及び関係機関等と協力して、令和6年能登半島地震の被災地支援のために職員(延べ3人)を派遣し、奥能登地域における入浴支援(2回)、避難所運営等支援(1回)を実施しました。
- (8) 企画調整会議、経営戦略会議、発展強化推進委員会、グループ会議等を開催し、職員参加による経営課題解決に取り組んだほか、介護保険事業所連絡会、障害福祉サービス事業所連絡会、地域福祉連絡会等で法人内外の情報共有を図りました。

### 2 人材の確保・育成と組織づくり

- (1) 全国的に不足が大きな課題となっている福祉・介護人材を確保するため、就職説明会への積極的な参加などにより法人(社協)の魅力を発信するとともに、職員採用試験の日程前倒し及び状況に応じた複数回実施により、人材確保に努めました。
- (2) 新規採用職員研修、管理職研修、福祉職員生涯研修、嘱託・非常勤職員の職場体験研修等を実施し、法人内の人材育成を進めました。
- (3) 組織横断で発展強化推進委員会を設置して、職員主体により「第3次発展・強化計画」を推進しました。
- (4) 大学生、高校生の実習生を積極的に受け入れ、将来の福祉・介護の担い手育成に努めましたが、介護職員初任者研修は受講希望者が無く、2年連続で開催に至りませんでした。
- (5) 健康管理研修を4年ぶりに開催して職員の心と身体健康増進を啓発したほか、参加しやすい共済会活動の推進により、働きやすい職場環境づくりを進めました。

### 3 法人の基盤強化

- (1) 事業の効果測定や事業評価により、効果的で効率的な経営に努めました。
- (2) 中長期計画に基づいて健全な財政運営を進め、老朽化が進む施設の改修、車両の更新等を計画的に実施しました。
- (3) 経営戦略会議の下に「地域福祉活動計画策定」及び「危機管理体制構築」の二つのプロジェクトチームを設置し、組織横断体制で重要課題解決に取り組みました。
- (4) 大規模災害時に迅速な対応ができるよう、プロジェクトチームを中心に防災計画の見直し及び法人全体の業務継続計画（BCP）の策定を行い、危機管理体制を構築しました。
- (5) 新型コロナウイルス感染防止対策をはじめ、あらゆる感染症予防を徹底し、安心・安全な福祉・介護サービスを提供しました。

## II 地域福祉の推進

### 1 住民とつくる福祉でまちづくりの推進

- (1) 支部福祉懇談会や研修会の開催及び支部・分会の事業運営支援により住民主体の地域福祉活動を推進し、福祉のまちづくり、支え合いづくりを進めました。
- (2) 民生児童委員や公民館をはじめ関係機関、地域団体等と連携し、住民がともに支え、支えられる見守りネットワーク体制づくりを進めました。
- (3) 持続可能な地域づくりに向けて、企業等の社会（地域）貢献活動の支援に取り組みました。
- (4) プロジェクトチームにより、市が策定する総合計画及び地域福祉計画と連携しながら、「第6次地域福祉活動計画」を策定しました。
- (5) 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の構築に向けて、市とともに先進市視察を実施し、新年度からの組織再編及び業務見直しを進めました。

### 2 生活支援・権利擁護

- (1) 生活就労支援センター「まいさぼ塩尻」を窓口として、相談者の自立と尊厳の保持に配慮しながら、日常生活に支障のある人を支援しました。
- (2) 関係機関と連携しながら資金貸付事業、食品配付事業、家計改善支援事業等を実施し、包括的な生活困窮者支援を進めました。
- (3) 成年後見支援センター及び中核機関の運営により、判断能力が不十分で権利擁護の必要な人を支援する成年後見制度の利用促進を図るとともに、後見人への支援、市民後見人の養成、身寄り問題解決などに取り組みました。
- (4) 金銭管理サービスや資金貸付により、誰もが安心して日常生活を送れるよう支援したほか、県社協の委託を受け、生活福祉資金特例貸付（新型コロナウイルス対応）の借受人へのフォローアップ支援を進めました。

### 3 ボランティア活動の振興

- (1) SNSを活用し、ボランティア活動の情報収集・発信に取り組みました。
- (2) 大規模災害等に備え、災害ボランティアセンター運営マニュアルを見直して運営訓練を実施するとともに、市と「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結して、災害時の被災者支援体制を強化しました。

## Ⅲ 介護サービス、障害福祉サービス事業

### 1 利用状況

- (1) 令和5年度の介護保険事業の延利用者は、全体で57,061人となり、前年度(54,515人)と比較して104.7%、2,546人の増加となりました。
- (2) 障害福祉サービス事業の延利用者は、全体で28,304人となり、前年度(28,502人)と比較して99.3%、198人の減少でした。

### 2 要介護・要支援者の自立支援・重度化防止

- (1) 利用者の意向を尊重し、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう、訪問及び通所サービスの充実により在宅生活を支援しました。
- (2) 地域包括ケアシステムの拠点である西部地域包括支援センターにおいて、介護・医療・保健・福祉などの包括的な相談・支援・啓発を進めました。
- (3) ふれあいセンター及びデイサービスセンターが連携し、介護予防及び認知症対策の取り組みを推進しました。

### 4 障害者相談支援事業の充実

- (1) 障がい者が地域で自分らしく安心して生活できるよう、相談支援、生活介護、児童発達等支援、就労支援などのサービス提供により、障がい者の総合的な支援を推進しました。
- (2) 塩尻・朝日・山形地域自立支援協議会と連携し、障がい者総合相談支援センター「ボイス」及び障がい者基幹相談支援センターによる相談体制の充実を図りました。

### 5 施設の改修等

- (1) 2か年計画で進めているすみれの丘改修工事(2階部分及び旧老福のむら)を実施し、障害福祉サービス利用者の利便性向上を図りました。
- (2) 県のエネルギーコスト削減促進事業補助金を活用して、すみれの丘の照明LED化及びエアコン設備等更新、すがのの郷のエアコン設備更新を実施しました(令和4年度繰り越し事業)。また、そよ風の家、みどりが丘及び田川の郷の補助金が交付決定となり、新年度に繰り越して設備更新事業を実施します。

## IV 指定管理事業等

### 1 指定管理

- (1) 市の指定管理により、ふれあいセンター広丘、ふれあいセンター洗馬（洗馬児童館併設）及びふれあいセンター東部の3館について、継続して管理運営を行いました。
- (2) 令和5年度末で指定期間が終了するふれあいセンター東部について、非公募により指定管理継続の申請を行い、令和6年度から5年間の指定管理候補者として市から通知を受け、市議会で決定されました。
- (3) 新たに3館共催による「ふれフェス（ふれあいフェスティバル）」を開催して、ふれあいセンターの周知及び利用者拡大を図ったほか、地域課題解決に向け、高齢者の移動手段確保のための「お買い物サロン」及び「お買い物バス実証実験」に取り組みました。

### 2 受託事業（施設等）

市からの事業委託を受け、引き続き生活就労支援センター（まいさぼ塩尻）、地域活動支援センター（すみれの丘）、塩尻市西部地域包括支援センター（すがのの郷）及び成年後見中核機関（地域福祉推進センター）を運営しました。

# I 総務課

## (I) 総務係

(主財源：市補助金、共同募金配分金、介護保険・障害福祉サービス収入)

### －事業概要－

- 理事会・評議員会等の会務の運営、職員の人事・労務管理等、法人の円滑な運営
- 会員制度の運営と会費の収納、善意銀行管理、共同募金への協力
- 社協報、ホームページ等を用いた啓発及び情報発信

### 【 目 標 】

- 1 職員同士のつながりと働きやすい環境を整え、職員が定着して働き続けることができる組織を作ります。
- 2 会費、共同募金、寄付金等、自己財源の確保・活用について研究し、より地域福祉活動へ還元できる仕組みづくりを進めます。(新)
- 3 市民に見える社協活動とするため広報活動を充実します。

### 【職員数】

(単位：人)

年 度	正 規	准正規・嘱託	非常勤	合 計
令和5年度	59	32	209	300
令和4年度	61	33	211	305
増 減	△2	△1	△2	△5

※常務理事、産休中の職員含む

令和6年3月31日現在

### 【事業実施状況】

#### 1 各種会議の実施

##### (1) 理事会・評議員会の開催

理事会 4回 評議員会 3回

役員の改選 理事 14人 監事 2人

会長・副会長・常務理事の選任

役員研修 1回 袋井市との合同研修

##### (2) 福祉サービスの苦情解決に関する委員会

委員会 1回 苦情申出 4件 (解決 3件、継続 1件)

##### (3) その他

経営戦略会議 4回 発展強化推進委員会 8回 発展強化研修会 1回

#### 2 働きやすい組織づくり

##### (1) 職員研修の実施

新規採用職員研修 1回 現場実習 1回

新規採用職員施設見学 2回 参加者 16人

嘱託、非常勤職員職場体験研修 1回 参加者 5人

- 福祉職員生涯研修（キャリアパス研修） 14人  
 チームリーダー研修 3回
- (2) 職員健康管理  
 衛生委員会 12回  
 産業医巡視 8回（産業医：清水外科胃腸科医院 院長 清水忠博氏）  
 精神保健相談 10回（相談員：精神保健福祉士 大谷庄司氏）  
 健康管理研修 1回 参加者 90人  
 ストレスチェック 95人（うち高ストレス 9人）
- (3) 職員共済会活動の実施  
 健康診断補助 78人（474,000円）  
 誕生日プレゼントの配布 180人（536,582円）  
 グルメ補助 71人（71,000円）  
 健康増進・身体リフレッシュ事業補助 16人（16,000円）  
 芸術鑑賞・スポーツ観戦補助 38人（98,200円）  
 会員交流事業 30人 61,213円
- (4) 福祉人材の育成、職員採用  
 就職説明会参加 3回（松本短期大学、長野大学、一般）  
 実習生の受入れ  
 ホームページ、求人受付 NAVI への就職情報の掲載

### 3 自主財源の確保、活用

(1) 会費 (単位：円)

項目	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績	前年度実績増減
普通会費 (500円)	7,602,600	6,739,000	7,393,606	△208,994
特別会費 (3,000円)	68,000	60,000	79,000	11,000
法人会費 (3,000円)	177,000	145,000	208,000	31,000
合計	7,847,600	6,944,000	7,680,606	△166,994

★目標達成率：普通会費 109.6% 特別会費 131.6% 法人会費 143.4%

(2) 寄付金 (単位：件、円)

年度	個人		団体		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和5年度	9	133,908	6	228,513	15	362,421
令和4年度	7	410,948	6	241,575	13	652,523
増減	2	△277,040	0	△13,062	2	△290,102

### (3) 共同募金

年 度	個人	法人	学校 職域	街頭 イベント	個人 大口	ハートフル ベンダー	その他	合計
令和5年度	10,545,380	646,623	225,495	17,033	0	37,722	186,242	11,658,495
令和4年度	11,132,626	694,000	296,349	110	3,000	37,551	129,559	12,293,195
増 減	△587,246	△47,377	△70,854	16,923	△3,000	171	56,683	△634,700

各年度3月31日現在

## 4 広報啓発

### (1) 第53回塩尻市社会福祉大会の開催

令和5年9月24日(日)午後1時 レザンホール大ホール(参加者200人)

特別功労者等表彰 7人3団体 社会福祉事業協力者 5人7団体

講演会 「誰ひとり取り残さない社会を目指して取り組めること」 馬島 誠氏

### (2) 地域福祉に関する啓発・情報提供

#### 【評価、今後の方向性】

- ・非常勤職員も含めた、新規採用職員の施設見学を行い、法人について理解を深めた。今後も社協職員として広い視野を持つことができるよう研修を実施していきます。
- ・職員共済会活動において、職員が仕事に対するモチベーションアップにつながるよう補助事業を拡大したことにより、会員同士の交流やリフレッシュに繋がった。今後も職員に喜んでもらえるよう活動内容を検討していきます。
- ・福祉分野での就職を希望する人材を増やすため、就職説明会への参加やホームページでの働く職員紹介を行った。今後も福祉人材確保に向けて取り組みます。
- ・共同募金について理解を深めていただくため、募金箱作成のワークショップを開催しました。 2回 35人参加
- ・ワークショップで作成した募金箱を店舗に設置していただきました。  
26店舗 48,562円
- ・企業を訪問し、法人会費の新規依頼を行いました。更に法人会費について理解をしていただき納入くださるよう、今後も取り組んでいきます。
- ・SNS対策推進委員会を設置し、ホームページやSNSを活用した情報発信について協議しました。
- ・広報「社協しおじり」、ホームページに加え、インスタグラムも活用して、多くの年代の方々に情報を発信しました。今後も社協事業について情報を提供して、理解を深めていただくよう努めます。

## Ⅱ 地域福祉推進グループ

### (Ⅰ) 地域福祉推進センター

#### 1 地域福祉

－事業概要－

- 人としての尊厳が守られ、一人ひとりがその人らしく生きていくことができる地域づくりを地域住民とともに進めていきます。

#### (1) 支部・分会支援 (主財源：市補助金、会費、介護保険・障害福祉サービス収入)

－事業概要－

- 市内全域で組織されている社協支部・分会を中心に住民主体の地域福祉活動を支援します。

#### 【 目 標 】

- 1 支部・分会対象の研修を行い、支部・分会活動を支援します。
- 2 住民が日ごろから顔の見える関係を築き、ともに支え、支えられる見守りネットワークを推進します。
- 3 地域で活躍する担い手の育成と支援に取り組みます。
- 4 第6次地域福祉活動計画を策定します。

#### 【 事業実施状況 】

(単位：世帯 人、 か所)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
見守りネットワーク 見守り世帯数	3,015	3,200	3,251
高齢者元気づくり広場等 介護予防事業 延利用者数	7,429	7,000	6,416
ふれあい食事サービス事業 延利用者数	7,575	7,300	7,830
子育てサロン 実施か所数	11	12	13
福祉協力員等数	338	345	335

★目標達成率：見守り 101.6%、元気づくり 91.7%、ふれあい食事 107.3%  
子育て 108.3%、福祉協力員等 97.1%

#### 1 支部・分会活動の支援

相談形態	電話	来所	訪問	会議	その他	合計
R4 年度実績	108	46	19	16	5	194

R5 年度実績	270	134	17	44	7	472
増減	162	88	△2	28	2	278

(単位：件)

相談内容：元気づくり広場について、福祉協力員活動について、補助金の申請・報告について等

## 2 他機関連携による地域づくり

- ・福祉課、長寿課との連携 (会議：9回)
- ・地域づくり課、支所との連携 (情報交換会：1回、他圏域支援)
- ・公民館との連携 (共同講座の開催)
- ・重層的支援体制整備事業構築のため、市職員と飯田市及び伊那市視察

## 3 第6次地域福祉活動計画の策定

- ・職員による地域福祉活動計画プロジェクトチームにより策定  
(会議：11回、班会議2回)
- ・ふれあいセンターでの市民ワークショップ (3回)

## 4 社会（地域）貢献活動の支援

- ・企業の貢献活動コーディネート (件数：7件)
- ・活動事例集となる冊子作成

### 【評価・今後の方向性】

- ・支部分会支援は、来年度から圏域支援を充実させるためふれあいセンター主体で支援を行います。
- ・来年度は市からの委託を受け、重層的支援（全世代対応型支援）の体制整備を進めます。
- ・令和6年度を初年度とする第6次地域福祉活動計画が始まるため、市民や職員に知っていただく機会や取り組みをしていただけるよう後押しをします。

## (2) 高齢者元気づくり (主財源：市受託金)

### —事業概要—

- 介護予防と孤独・孤立の防止に向け、地域で行われている住民主体の活動に、高齢者が生きがいを感じて参加し、健康づくり・仲間づくりができるよう支援します

### 【 目 標 】

- 1 地域の人とつながり、生きがいづくりや介護予防に取り組みます。
- 2 地域での介護予防活動を支える担い手を育成します。

【事業実施状況】

(単位：数、回、人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
支援か所数	57	62	58
支援回数	211	240	284
参加者数	4,262	4,600	6,178

★目標達成率：支援か所数 93.5%、支援回数 118.3%、参加者数 134.3%

【評価・今後の方向性】

- ・支援回数、参加者数が大幅に伸びています。
- ・来年度から各ふれあいセンターに元気づくり広場担当職員を配置し、圏域の相談対応、地域支援を行います。

## 2 生活支援

### (1) 生活困窮者相談支援 (主財源：会費、市受託金)

－事業概要－

- 誰もが地域社会の一員として尊厳をもった生活を送ることができるよう、生活をしていくうえで困難な課題を抱える相談者の状況に応じ、支援事業とセーフティネット関連事業の一体的な実施により、最適な支援策を早期・包括的に提供します。

【 目 標 】

- 1 「生活困窮者の自立と尊厳の確保」、「生活困窮者支援を通じた地域づくり」に取り組めます。
- 2 複雑化、世帯全体に関わる生活相談の増加にともない、行政や関係機関と連携しながら包括的伴走支援をします。

【事業実施状況】

生活困窮者自立支援

(単位：件)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
新規相談件数	173	170	186
自立支援計画 作成件数	22	30	30

家計改善支援

(単位：件)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
新規相談件数	7	7	4
家計改善支援 計画作成件数	3	4	6

★目標達成状況：新規相談 109.4%、自立支援計画 100%、家計新規 57.1%、家計改善計画 150%

## 1 就労先の開拓

- ・プチバイト、就労支援プロジェクト新規受入れ企業 4 件

### 【評価・今後の方向性】

- ・支援調整会議に合わせて相談傾向の把握をしています。相談者の年代、世帯構成は幅広く、相談内容が複雑であるため、各種関係機関と連携し対応するとともに、相談支援員のケースワークのスキルアップを図ります。
- ・収入はあるが多重債務や使途に課題がある者の相談が増えています。家計のアセスメントを強化し、効果的な家計改善支援を行います。

## (2) 成年後見支援センター（主財源：会費、市補助金、市受託金）

### －事業概要－

- 認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人及び将来の判断能力の低下に備えたい人が、成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行います。
- 権利を尊重し擁護することにより、地域で安心して暮らすことができるよう成年後見制度の利用促進を図ります。

### 【 目 標 】

- 1 成年後見支援センターが地域の相談窓口として認知されるよう広報啓発を進めます。
- 2 必要とする人が成年後見制度を効果的に活用できるよう相談に応じます。
- 3 市民後見人養成講座受講生のフォローアップや法人後見支援員としての業務を通し、市民後見人の育成に取り組みます。

### 【 事業実施状況】

(単位：件)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
成年後見相談支援件数	275	270	115
法人後見受任件数	16	15	19

★目標達成率：成年後見相談支援件数 42.6%、法人後見受任件数 126.7%

相談が大幅に減少した理由は、受任者の心身面の変動が少なく、連絡調整が減ったため

## 1 担い手の育成

- ・市民後見人養成講座の受講者を含む 4 人が成年後見支援員として活動を開始

## 2 身寄り問題に対する取り組み

- ・社会福祉大会でのパネル展示
- ・市内の金融機関・入所施設において、課題や役割等を説明

### 【評価・今後の方向性】

- ・成年後見支援員として活動している者の伴走支援をし、ゆくゆくは社協との複数後見、または一人で担う単独後見を進めます。
- ・身寄り問題は、関係機関とともにガイドラインの作成に着手します。

### (3) 日常生活自立支援事業 (主財源：県社協受託金)

#### くらしのあんしんサービス事業 (主財源：市社協)

##### －事業概要－

- 判断能力の不十分な人が地域で安心して生活できるよう、日常生活を営む上での課題について相談を受け、必要に応じて金銭管理サービスなどを行います。

##### 【 目 標 】

自立支援や金銭管理サービス、家計支援等を通し、個人の尊厳と意思が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現を目指します。

##### 【 事業実施状況 】

(単位：件)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
日常生活自立支援事業 利用件数	52	50	49
くらしのあんしん サービス利用件数	10	16	12

※管内社協（朝日村）の利用者含む

★目標達成率：日常生活自立支援 98%、くらしのあんしんサービス 75%

#### 1 くらしのあんしんサービスの拡充

- ・判断能力の不十分な人への支援に加え、入院中のためお金をおろせない等の事情がある判断能力のある人の相談対応（実績 4 件）

##### 【評価・今後の方向性】

・権利擁護の仕組みの周知が進み、支援者からの相談が増えています。より連携を強化し本人のニーズに合った支援となるようにします。

また日常生活自立支援事業、くらしのあんしんサービスの契約者の判断能力の低下やニーズの変化に合わせて、成年後見制度への移行を進めます。

### (4) 資金貸付 (主財源：会費、県社協補助金)

##### －事業概要－

- 低所得世帯等の生活を経済的に支えるとともに、生活意欲の助長促進のため、関係機関と連携し在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活に繋がります。

##### 【 目 標 】

関係機関と連携し経済的困窮状態の解消を図ることができるよう支援します。

【事業実施状況】

(単位：件)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
生活福祉資金貸付件数	76	10	5
くらしの資金貸付件数	51	40	38
コロナ特例貸付フォローアップ対応件数	—	140	148

★目標達成率：生活福祉資金貸付 50.0%、くらしの資金貸付 95%、  
コロナフォローアップ 105.7%

【評価・今後の方向性】

・コロナ特例貸付者の償還が始まり、フォローアップ支援を行っています。今後は架電による状況把握、償還免除者へ生活実態調査アンケートを実施予定です。

### 3 ボランティア

(1) ボランティアセンター (主財源：会費、市補助金)

—事業概要—

- 福祉活動への理解を促進し、地域の中で支え手のすそ野を広げ、また、福祉活動に参画できる機会につなげることができるようボランティアの育成や活動の支援、福祉学習を行います。
- 災害ボランティアの役割、必要性を広く住民に周知し、災害発生時には主体的に活動できるボランティアの育成を行います。

【 目 標 】

- 1 ボランティアへの関心を高めるため、情報の収集や発信をタイムリーに行い、活動を後押しします。
- 2 災害発生時、速やかに支援体制の構築ができるよう、ボランティアや協力団体と日ごろから連携し有事に備えます。
- 3 公民館等社会教育機関と共に、福祉学習を進めます。

【事業実施状況】

(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
ボランティア相談数	378	---	307
ボランティア登録者数	6,937	7,000	7,198

★ボランティア相談実績比：81.2%      ★ボラ登録者目標達成率：102.8%

## 1 災害時の対応

- ・石川県の避難所へ職員派遣 1 人
- ・市との災害協定締結
- ・災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直し
- ・職員向け災害ボランティアセンター運営研修の実施 1 回
- ・災害ボランティアセンターの運営訓練  
災害時応援協定を締結した塩尻ライオンズクラブ、塩尻桔梗ライオンズクラブも参加

## 2 その他新規の取り組み

- ・引きこもりの親子を対象とした居場所づくりイベントの実施
- ・夏休み期間の学習広場の連携・協働（塩尻東支所、高出支所、市教育総務課）
- ・NPO 法人によるチャリティー音楽祭の運営支援
- ・高校ボランティア部との連携
- ・家庭支援課と共催でしおじりカレー大作戦の実施

### 【評価・今後の方向性】

- ・災害ボランティアセンターの運営マニュアルを見直し、市との災害協定を結び災害時の体制整備を強化しました。
- ・社協に寄せられる寄付物品や地域の農家からのロス食材を、地域の子ども食堂、長期休み中の子どもの学習広場等に活用できるようコーディネートを行いました。
- ・今後はボランティア団体・個人や他機関と協働し地域の居場所づくりを強化するとともに、学生を巻き込んだ新たな担い手の育成に取り組みます。

## (2) 送迎サービス支援（主財源：会費）

### ―事業概要―

- 移動困難な高齢者や障がい者等の生活圏の拡大を支援します。

### 【 目 標 】

- 1 送迎サービスの周知と拡充を図ります。
- 2 協力会員を増やし、利用しやすいサービスづくりをします。

### 【 事業実施状況 】

(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
利用者数	731	720	597

★目標達成率：82.9%

### 【評価・今後の方向性】

- ・協力会員の高齢化、活動休止者の増加により、令和6年1月から利用回数を減らし対応しています。

・事業継続に向け、市や他の民間事業者等と移動支援に関する連絡会や情報交換を行う機会を設け、方策を検討します。令和6年4月に「どこでも市長室」を活用した情報交換・懇談会を予定しています。

### (3) 障害者にやさしいまちづくり (主財源：市受託金)

―事業概要―

- 障がい者への理解を深め、福祉のまちづくりを進めるために奉仕員の養成を行います。

#### 【 目 標 】

ボランティアの学びの場をつくり、活動を後押しします。

#### 【 事業実施状況 】

(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
奉仕員養成講座参加者数	1,253	1,144	1,033

★目標達成率：90.3%

#### 【評価・今後の方向性】

・今後市と協議し、養成講座終了後の受講生が更に学び、ステップアップする環境を作り、奉仕員に登録し活躍できるようしくみづくりを行います。

### (4) 福祉自動車運行 (主財源：共同募金)

―事業概要―

- 高齢や障がい等で移動が困難な人の移動を支援するため、車椅子用福祉自動車を貸出します。

#### 【 目 標 】

周知を行い、利用される方の社会参加の増進を図ります。

#### 【 事業実施状況 】

(単位：件)

区 分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
福祉自動車利用件数	164	150	138

★目標達成率：92%

#### 【評価、今後の方向性】

- ・車両を新しくしています。
- ・貸出にあたり、いただいた声を反映し利用がしやすくなるようにします。

## (Ⅱ) ふれあいセンター洗馬

### 1 ふれあいセンター洗馬 (主財源：市指定管理料)

#### －事業概要－

- 西部圏域（洗馬・宗賀・檜川地区）の地域福祉活動の拠点施設として、子どもから高齢者まで幅広い年代層に広くふれあいの場を提供し、交流を促進します。

#### 【 目 標 】

- 1 幅広い世代にふれあうことができる場を提供し、交流を促進します。
- 2 市民の主体的な地域福祉活動を支援します。
- 3 洗馬児童館と連携協力し、利用者のサービス向上を図ります。

#### 【利用状況】

- ・開所日数：303日 ・登録者数：7,139人 ・延利用者数：17,857人（1日59人）  
(単位：人)

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	18,039	18,000	17,857

延利用人数	団体	個人	地区講座	介護予防	その他講座	計
令和5年度	1,856	14,158	725	621	497	17,857
令和4年度	1,340	14,900	826	624	349	18,039
増減	516	△742	△101	△3	148	△182

★目標達成率：99.2% 前年度比2.7%減

#### 【事業実施状況】

##### 1 西部圏域の地域福祉活動の推進

(1) 総合相談事業 延1,076件 (単位：件)

相談区分	介護	福祉	ボランティア	有償サービス	福祉学習	地域支援
件数	5	409	60	165	56	381

相談形式	来所	電話	訪問	会議
件数	99	699	158	108

##### (2) 講座の開催

ふれあい講座 6回

- ・親子で楽しむスパイスカレー教室 (16人)
- ・ほう葉巻きづくり (16人)
- ・親子ひなまつりクッキング (19人)
- ・親子ヘアアレンジ教室 (19人)
- ・春を待つ寄せ植え (13人)
- ・男性向け料理教室 (1回6人)

地域福祉力アップ講座 3回

- ・介護のあれこれ (19人)
- ・食と栄養のあれこれ (6人)
- ・お助け夕飯部 (5人)

(3) 地域支え合い支援

- ・交通課題検討チーム 定例会 9回

(4) 社協支部・分会等との連携

- ・洗馬子育てサロン支援 (9回 延 105人)
- ・元気づくり広場参加 (床尾分会 2回)

(5) 福祉教育の推進

①西部圏域支援

宗賀小学校	5回	洗馬小学校	1回
塩尻西部中学校	4回	檜川小中学校	3回
洗馬児童館	こども福祉教室	2回	60人
講師派遣			

②その他支援

- ・サマースクールふくし講座 1回
- ・塩尻市公民館役員研修会 講師 1回
- ・長野県生涯学習推進センター研修 講師 1回
- ・丘中学校キャリア教育講師 1回
- ・日本公民館学会実践報告 1回

(6) お買い物サロン 5回 83人

(7) 行政と連携した交通課題解決のための事業

- お買い物バスの運行 2回 31人

## 2 世代間交流の推進

- ・生きがい講座参加者と保育園児との世代間交流

妙義保育園	1回	30人
宗賀保育園	1回	15人
洗馬児童館	2回	53人

- ・ふれフェス (3ふれあいセンター共催行事) 1回 143人
- ・カレー大作戦 (家庭支援課共催行事) 1回 49人

## 3 西部圏域地域福祉ネットワークづくり

(1) 西部圏域地域福祉ネットワークの構築

- ・区長会総会への出席 (宗賀地区 1回)
- ・民生児童委員協議会地区会への参加  
(洗馬地区 5回、宗賀地区 5回、檜川地区 2回)
- ・支部分会支援 (支所長打合せ 5回、宗賀公民館行事 3回  
床尾公民館行事 1回、檜川公民館行事 1回)
- ・西部圏域の住民活動の支援  
関所亭活動支援 13回 (贅川ちびっこサロン立ち上げ、移動檜の実開催、  
住民ワークショップ開催)  
牧野団地交流事業 1回、牧野団地移動スーパー実証運行 3回

(2) 圏域間の情報共有、連携の強化

- ・CSW会議 12回

- ・有償サービス事業打合せ会議 12回
- ・西部包括支援センター・CSW 会議 4回
- ・困難事例ケース検討会 1回
- ・生活支援コーディネーター会議 1回
- ・子どもに関する情報交換会 1回
- ・シニアに関する市内情報交換会 3回

### (3) 洗馬お元気食堂の開催

- ・4回 延べ参加者：103人

## 4 利用者の福祉の増進

### (1) 講座の開催

- ・地区講座の開催 6グループ 70回 718人(※雪のため2回中止)
- ・介護予防講座の開催 4講座 40回 622人

### (2) 利用者からの意見・要望の把握

- ・利用者懇談会の開催（ふれあいセンター広丘と合同開催） 1回 14人
- ・利用者アンケートの実施（生きがい講座、介護予防講座、個人利用者） 1回

## 5 職員研修の実施

- ・社協職員研修 社協発展強化研修、健康管理研修
- ・外部研修 新人養成担当者研修、松本市寿地区福祉広場視察、コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修、松本ブロック社協職員研修会、福祉教育推進セミナー、生活福祉研究機構リレーセミナー、部活動の地域移行講座、越境ミーティング

## 【評価・今後の方向性】

- ・利用人数は全体では前年度比2.7%の利用減となり、特に入浴利用者、地区講座の利用が前年度に比べ減少となりました。団体利用については増加し、子育て世代の団体利用が少しずつ増えてきています。今後は、総合相談窓口としての周知を進めるとともに、多世代が参加できる交流事業等を通じてセンターが気軽に立ち寄っていただける場所となるよう情報発信していきます。
- ・地域課題解決に向けた取り組みの一環として、交通課題解決を目指し「お買い物バス」実証運行を市と連携し行いました。今後は必要とされるニーズの把握を行い、住民や市と連携し課題解決に繋がる方法の検討を継続します。
- ・ふれあいセンターを広く周知し、活用していただくために「ふれフェス」の実施や、SNSの活用・ホームページの更新を行い、成果として子育て世代の市民活動団体とのつながりが生まれました。
- ・地域のつながりが希薄な地域に対して、つながりづくりを目的とした昼食会を実施し、地域住民・社協・民生委員の顔が繋がったことで相談支援体制が構築しやすくなりました。
- ・令和6年度は、支部・分会支援、高齢者元気づくり事業について、地域福祉推進センターから事業が移管となるため、社協支部・分会、民生児童委員等の連携により地域の支え合い活動等の推進について、各分会に合わせた地域支援を検討していきます。

## 2 洗馬児童館（主財源：市指定管理料）

### －事業概要－

- 児童館の運営と放課後児童クラブ、放課後キッズクラブの運営
- 子育て中の母親等の情報交換の場、子育てサークルの場、就学前の親子交流の場として活用し、保護者の子育てに関する相談業務

### 【 目 標 】

- 1 安心、安全な子どもの居場所になるよう放課後の遊び及び生活を支援し、児童の自立支援を目指します。
- 2 地域に開かれた施設づくりを行い、児童館をPRします。
- 3 児童の遊び及び生活の援助と、地域における子育て家庭の支援を行います。

### 【利用状況】

- ・開所日数： 290日                      ・登録者数： 77人
- ・延利用者数： 10,758 人（1日 37人）

（単位：人）

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
児童館	204	150	527
児童クラブ	7,850	8,000	10,231

#### 児童館

延利用人数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	計
令和5年度	110	292	18	0	107	527
令和4年度	95	38	0	0	71	204
増減	15	254	18	0	36	323

#### 児童クラブ

延利用人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
令和5年度	3,427	2,795	2,566	183	1,260	0	10,231
令和4年度	3,131	2,591	504	1,525	96	3	7,850
比較	296	204	2,062	△1,342	1,164	△3	2,381

★目標達成率：児童館 351,3%                      児童クラブ 127,8%

### 【事業実施状況】

#### 1 児童館

##### (1) 子育て支援

- ・つどいの広場（11回）

夏休み期間中の8月は実施できなかったが、他の月は1回ずつ実施し、47組96人の親子が参加

## (2) 地域・関係機関との連携

- ・地域教育協議会への参加 (4回)
- ・小学校運営協議会への参加 (4回)
- ・小学校の先生方の児童館訪問 (15人)
- ・教頭先生や担任の先生との情報共有 (25回)
- ・民生児童委員との情報共有 (2回)

## 2 放課後児童クラブ・放課後キッズクラブ

### (1) 放課後等児童健全育成事業

- ・避難訓練 (4回 参加者:109人)  
内容: 避難経路確認と災害時の安全な身の守り方  
小学校から児童館までの道路の安全確認
- ・児童の計画によるお楽しみ会 (2回 75人)
- ・お話会 (12回 381人)
- ・子ども福祉教室 (2回 50人)
- ・赤い羽根共同募金箱作りのワークショップ (1回 28人)
- ・食育教室 (1回 34人)
- ・バイオリンとピアノによるコンサート (1回 37人)
- ・洗馬地区文化祭作品展示 (63人)
- ・ご意見箱の設置 (常時)

### (2) 要支援児童の早期発見と関係機関との連携

- ・小学校職員との懇談や情報共有
- ・保護者からの相談 延35件

### (3) 放課後児童クラブ保護者会事業への支援 (放課後キッズクラブ含む)

- ・保護者会事業計画・保護者会作業 (1回) — 雨天中止

### (4) 世代間交流

- ・クリア洗馬の利用者との交流 (1回 31人)
- ・ふれあいセンター洗馬祭りで歌の発表 (1回 22人)
- ・ふれあいセンター洗馬講座受講者との交流 (2回 51人)
- ・お元気食堂への協働 (2回 11人)

## 【評価、今後の方向性】

- ・保育園、小学校等関係機関、洗馬地区民生児童委員や住民と連携して、地域全体で育児を支援します。
- ・要支援児童の早期発見に努め、家庭、関係機関と連携して支援します。
- ・放課後児童クラブ保護者会事業への支援を行い、保護者との連携をとっていきます。
- ・様々な感染症予防対策に努め、安全に十分留意して行事を計画し実施していきます。
- ・保護者からの要望をもとに、安全安心な施設となるよう努めていきます。今後も利用者のニーズに沿えるよう取り組を続けていきます。

## (Ⅲ) ふれあいセンター広丘

### 1 ふれあいセンター広丘（主財源：市指定管理料）

#### —事業概要—

- 北部圏域（高出・片丘・広丘・吉田地区）の地域福祉活動の拠点施設として、子どもから高齢者まで幅広い年齢層に広くふれあいの場を提供し、交流を促進します。

#### 【 目 標 】

- 1 住民同士のふれあいの場を提供し、交流を促進します。
- 2 地域福祉活動の拠点施設として市民の活動を支援します。
- 3 介護予防・認知症対策の取り組みを進めます。
- 4 福祉の総合相談窓口として市民を支援します。

#### 【利用状況】

- ・開所日数：303日 ・登録者数：5,382人 ・延利用者数：36,212人（1日119.5人）  
（単位：人）

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	33,758	34,500	36,212

延利用人数	団体	個人	介護予 防講座	地区 講座	健康運 動教室	その他 の講座	合計
令和5年度	7,081	26,095	861	790	1,068	317	36,212
令和4年度	5,802	25,103	797	686	1,126	244	33,758
増減	1,279	992	64	104	△58	73	2,454

- ★目標達成率：105% 延利用者数 前年度比7%増

#### 【事業実施状況】

### 1 北部圏域の地域福祉活動の推進

- (1) 総合相談事業 延 1,057件

(単位：件)

相談区分	介護	福祉	ボランティア	有償サービス	福祉学習	地域支援
件数	13	409	43	373	114	105

(単位：件)

相談形式	来所	電話	訪問	会議
件数	152	568	201	94

- (2) 講座の開催
  - ・出張型地域福祉講座  
公民館連携（高出公民館 1回 15人 吉田公民館 1回 20人）
- (3) 地域支え合い支援
  - ・交通課題プロジェクト 10回（片丘地区買い物ぶらり旅 1回 4人）
- (4) 住民福祉活動の支援
  - ・子どもに関わるボランティア団体情報交換会 1回
- (5) 福祉学習の推進
  - ①北部圏域支援
    - 広丘小学校 4回
    - 広陵中学校 13回
    - 丘中学校 6回
  - ②その他支援
    - ・中央公民館サマースクール公民館講座
    - ・原新田公民館防災運動会
    - ・公民館フェス
    - ・ソトイク祭
    - ・福祉教育担当者研修会
    - ・南内田防災訓練
    - ・カレー大作戦
    - ・こどもしおじり 各1回
- (6) 交流の場を企画
  - ・ふれあい食堂、みんなの居場所開催
  - ・茶話会 1回
  - ・機織りを通じた交流の場 42回 延112人

## 2 介護予防・認知症対策の推進

- (1) 介護予防認知症対策講座
  - ・健康運動教室 11回コース 3教室 年4回 延 1,068人
  - ・健康運動教室フォローアップ講座 2回 延33人
  - ・一般向け介護予防講座 2回 延56人
  - ・一般向け認知症対策講座 2回 延119人
- (2) 認知症サポートセンター
  - ・認知症専門家による初期相談 12回 延 13件
  - ・認知症サポーター養成講座 14回 延 64人
  - ・オレンジカフェ 24回 延 230人
  - ・アルツハイマー月間への取り組み（認知症啓発コーナー設置）
  - ・認知症サポーターステップアップ講座 2回 参加者12人
  - ・認知症地域支援推進員会議 6回
  - ・チームオレンジ準備会

## 3 北部圏域地域福祉ネットワークづくり

- (1) 北部圏域地域福祉ネットワークの構築
  - ・支部総会への参加 4回（4地区）
  - ・支部福祉懇談会 4回（4地区）

- ・民生児童委員協議会地区会への参加 8回  
(吉田地区 1回 片丘地区 3回 高出地区 2回 広丘地区 2回)
- ・高出地区支え合い推進会議 1回
- ・高出二区支え合い推進事業特別委員会 8回
- ・高出4区会議 1回
- ・片丘地区ケア推進会議 1回
- ・吉田地区ケア推進会議 2回
- ・高出5区防災訓練 1回

(2) 圏域間の情報共有、連携の強化

- ・CSW 会議 12回
- ・地域包括ケア推進協議会 1回
- ・若者支援会議 1回

(3) 有償福祉サービス事業の実施 (市内全域) (単位：人、回、時間、件)

	市全体 (R4 年度)	北部圏域	西部圏域	東部圏域
活動登録者	65 (58)	34	18	13
サービス提供回数	113 (167)	166	35	43
活動時間	356 (250.5)	217.5	85	53.5
新規相談	58 (49)	29	14	15
新規登録	34 (24)	15	6	9

(活動内容：草取り、室内掃除、ゴミ出し、買い物、話し相手、料理など)

- ・しおりんサポーター連絡会 2回 延参加者：14人
- ・サポータースキルアップ講座 1回 13人
- ・お助け隊活動紹介講座 1回 8人

#### 4 利用者の福祉の増進

(1) 講座の開催

- ・地区講座の開催 延 72回 参加者：延 790人
- ・介護予防講座の開催 延 59回 参加者：延 860人

(2) 福祉関係団体に会場を提供 延 259団体 3,251人

(3) 講座受講者、団体利用者の送迎バス運行 延 82回 812人

(4) 利用者からの意見・要望の把握

- ・利用者懇談会 (ふれあいセンター洗馬と合同開催) 1回 14人
- ・ご意見箱の設置等意見の聞き取り

(5) 地域交流事業の実施

- ・ふれあい広丘・つくしまつり 1回 166人
- ・ふれフェス (ふれあいフェスティバル) 1回 143人 (3センター共催)

#### 5 職員研修の実施

- ・職場内研修 (感染症について、有償サービスについて、利用者対応等)

- ・社協職員研修（新人研修、発展強化研修、健康管理研修、元気づくり事業見学、交通安全研修、等）
- ・外部研修（松本市寿地区有償ボランティア事業視察、認知症地域支援推進員研修とまり木視察、安全運転管理者研修、包括的支援体制事業に関する研修等）

### 【評価、今後の方向性】

- ・利用人数について前年に比べ7%増となりました。入浴利用者、団体利用者等全体的に増加しています。
- ・「ふれフェス」の開催や子育て世代の市民活動団体によるセンター利用を機に、子どもとその親（若い世代）の利用者が増えてきました。今後は空いている部屋を利用した居場所の提案を行い、利用の促進・住民の交流に取り組みます。
- ・相談件数は昨年より約50%増加しています。有償サービス利用相談、健康相談などをきっかけに生活課題を発見し支援につなげるケースもあり、今後もアウトリーチを通じた課題の発見とともに総合相談窓口として周知をすすめ、気軽に相談できるセンターを目指します。
- ・有償福祉サービスでは他地区の視察、子育て支援センターとの情報交換を実施しました。他の機関と連携を深め、活動者の希望と利用者のニーズの調整を図り、住民同士の助け合い事業を推進します。

## 2 すみれ食堂（主財源：会費、事業収入）

### －事業概要－

- 利用者に昼食を提供します。また、団体利用者の予約を受けて昼食を提供します。

### 【 目 標 】

- 1 利用者に憩いの場を提供し、交流を促進します。
- 2 安全で安価な食事を提供します。

### 【利用状況】

（単位：食、円）

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
食 数	5,528	5,790	6,032
売 上	3,277,260	3,322,500	3,823,515

★目標達成率：食数 104%、売上 115% 前年度比：食数 9%増、売上 16%増

### 【評価、今後の方向性】

- ・売上、食数ともに前年度より増加し目標を達成できましたが、材料費・光熱費の値上がりにより厳しい状況が続いています。
- ・利用者からの紹介、子育て世代の団体利用者など新規のファンが増えました。
- ・就労支援事業所製品の菓子やパン、地元産レタスなどの売り上げが好評で増加しました。

## (IV) ふれあいセンター東部 (主財源：市指定管理料)

### ―事業概要―

- 東部圏域（大門・塩尻東・北小野地区）の地域福祉活動の拠点施設として、子どもから高齢者まで幅広い年代層に広くふれあいの場を提供し、交流を促進します。

### 【 目 標 】

- 1 ふれあいの場を提供し、世代間交流を促進します。
- 2 住民主体の地域福祉活動を推進するための支援をします。
- 3 幅広い世代の利用者に対し、健康的な生活習慣の定着を支援します。

### 【利用状況】

・開所日数：301日 ・登録者数：1,064人 ・延利用者数：22,014人（1日73人）

(単位：人)

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	18,961	17,300	22,014

(単位：人)

延利用人数	団体	個人	介護予防講座	地区講座	からだづく り運動教室	その他 講座	合計
R5年度	3,702	15,950	332	439	1,350	241	22,014
R4年度	2,394	14,269	352	367	1,284	295	18,961
増減	1,308	1,681	▲20	72	66	▲54	3,053

★目標達成率：127% 延利用者数 前年度比16%増

### 【事業実施状況】

#### 1 東部圏域の地域福祉活動の推進

(1) 総合相談事業 延879件 (単位：件)

相談区分	介護	福祉	ボランティア	有償サービス	福祉学習	地域支援
件数	10	626	20	92	68	63

(単位：件)

相談形式	来所	電話	訪問	会議
件数	144	504	119	112

#### (2) 東部圏域の地域福祉活動講座の開催

- ・北小野地区 地域で支える認知症の理解について講座 1回
- 防災学習会 1回

・大門地区	子ども福祉講座	手話を覚えよう	2回		
・塩尻東地区	霧訪山コン		1回		
	防災講座		1回		
・中央公民館	サマースクール	そよ風の家クッキー作り	1回		
・障害を理解する	誰もが住みやすい街づくり		2回		
(3)	地域支え合い支援				
	・交通課題プロジェクト会議		3回		
	移動支援学習会		1回		
(4)	社協支部・分会等との連携				
	・支部総会（大門、塩尻東、北小野）				
	・支部福祉懇談会（大門、塩尻東、北小野）				
	・大出分会（1回）、大門6番町（1回）、上西条防災訓練参加（1回）				
	・長畝分会（1回）、峰原区（1回）				
(5)	住民福祉活動の支援				
	・子ども食堂	2回			
	・町区ラジオ体操・健康講話		4回		
	・ボランティア団体	1回			
	・おさがり服会		2回		
	・北小野たのめ市	1回			
	・カラオケDE交流会		3回		
	・哲学対話	3回			
	・ふれあいサポーター活動の支援		16回		
	・特技を活かした方の参加支援		2回		
	・ふれあいサポーター養成講座		1回	12人	
(6)	福祉学習の推進				
	・塩尻中学校	10回	・両小野中学校	3回	
	・塩尻東小学校	1回	・塩尻西小学校	1回	
	・啓発活動（学校訪問）	4回	・広陵中学校	1回	
			・西部中学校	1回	
(7)	お買物サロンの実施		11回	591人	
(8)	行政と連携した交通課題解決のための事業				
	買い物バスの運行		1回目	15人	
			(北小野地区対象)	2回目	7人

## 2 健康づくり活動の推進

(1)	生活習慣健康講座			
	① 運動指導を重視した講座			
	・トレーニングマシンを利用した運動	4期×2コース	96回	848人
	・フィットネス	6教室	36回	476人
	・からだづくりステップアップ教室		2回	41人
	② 生活指導を重視した講座		[2講座	49人]
(2)	健康づくりリーダー研修		2回	38人
	健康づくりリーダー活動		2回	8人
(3)	出張型講座の開催		3回	

(4) 家族で運動教室 2回 34人

### 3 東部圏域地域福祉ネットワークづくり

- (1) 東部圏域福祉ネットワークの構築
- ・民生児童委員協議会地区会への参加  
(大門地区会 1回、塩尻東地区 1回、北小野地区会 8回)
  - ・民生児童委員協議会総会研修 1回
  - ・寿地区生活支援コーディネーター視察 1回
  - ・子ども関係機関団体情報交換会 1回
- (2) 圏域間の情報共有、連携強化
- ・生活支援コーディネーター会議 12回
  - ・東部圏域担当者会議 2回
- (3) 有償福祉サービス事業の実施
- ・生活支援サービスの提供 43回
  - ・有償サービス事業打合せ会議 12回

### 4 世代間交流の推進

- (1) 就労支援事業所とのマルシェ 74回 509人
- (2) 季節の教室 3回 41人

### 5 利用者の福祉の増進

- (1) 講座の開催
- ・地区講座（生きがい講座）3地区 24回 447人
  - ・介護予防講座の開催 2講座 20回 332人
- (2) 福祉関係団体に会場を提供 37団体 225回
- (3) 送迎バスの運行 72回 1,269人
- (4) 利用者懇談会 1回 10人
- (5) ふれフェス 174人、東部ふれあいセンターまつり 238人 2回 412人
- (6) お楽しみ入浴（菖蒲、ラベンダー、リンゴ） 12回

### 6 職員研修の実施

・寿地区生活支援コーディネーター視察・コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修  
・防災計画役割説明、緊急時避難誘導・塩尻市防災訓練・ボランティアセンター立ち上げ訓練参加  
・安全運転管理者講習  
・健康管理研修  
・管理職研修  
・合同防災訓練（保育園、峰原区）  
・交通安全運転研修  
・松本ブロック社協職員研修  
・AED 救急法講習会  
・利用者急変時の対応  
・社協組織、福祉事業勉強会 4回

#### 【評価、今後の方向性】

・総合相談事業は4年度に比べ介護、ボランティアが2倍、福祉学習は3倍、有償が増加、福祉が減少、相談形式では電話、会議が減少、全体では17%の減少でした。

- ・カラオケ DE 交流会はボランティアと居場所づくりを行い男性や若い世代の参加や障がいがある方に好評でした。
- ・福祉学習は社協内で内容の検討を行い、実際に交流、体験のためにすみれの丘での実習や、地域の高齢者の話しを取り入れわかり易く理解できたと評価いただきました。
- ・買い物に困っている方を支援するために、東部圏域を対象にお買い物サロンを2年間実施し検証した結果、利用者は楽しみが目的でした。
- ・市との買物バスの実証運行を2回実施。実際に困っている方の利用が無く、交流・おたのしみの場としての利用でした。6年度は民生委員にアンケートを行うなど、更に実証運行を進めていきます。
- ・有償福祉サービスの担い手不足のため育成を行い、3名の新規登録者ができました。
- ・からだづくり運動教室は土、日曜日の開催を行い、若い世代や、新規利用の方が増えました。アンケート等からのニーズに応え内容の検討をしていきます。
- ・福祉避難所立ち上げ訓練を行い、職員、地域の防災力を高めました。今後も訓練を行い事業所マニュアル作成等について取り組みます。
- ・総合相談窓口の強化と新たに地域福祉推進員が設置されるので、地域、行政、専門機関との連携を図り、見えにくい課題を抱えている人に気づき、気づいた課題を上げていきます。

### Ⅲ 福祉事業グループ

#### (I) 訪問ケアセンター

##### 1 ホームヘルパーステーション社協ふれあい

(主財源：介護保険収入、障害福祉サービス収入)

－事業概要－

- 要介護・要支援の認定を受けた人や障がいのある人、訪問サービスが必要な人の家に訪問し、家事の援助・身体介護・生活上必要な活動の援助等を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 利用者の意向を尊重し、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう在宅生活を支援します。
- 2 他事業所と連携して利用者、地域に必要なサービスを提供します。
- 3 訪問介護員の質を高め、多様なニーズに対応できる力を身につけます。

#### 【利用状況】

訪問介護（介護保険）

・開所日数：366日 ・3月実利用者数：149人 ・延利用者数：20,114人（1日55.0人）  
(単位：人)

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	20,072	21,040	20,114

(単位：人)

介護度別 延利用者数	総合事業		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
	サービスA	独自サービス						
令和5年度	362	6,133	2,719	3,359	3,177	2,153	2,211	20,114
令和4年度	528	5,229	2,607	4,468	3,019	2,095	2,126	20,072
増減	△166	904	112	△1,109	158	58	85	42

★目標達成率：95.6%

居宅介護等(障害福祉サービス)

・開所日数：366日 ・3月実利用者数：82人 ・延利用者数：7,390人（1日20.2人）  
(単位：人)

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	7,608	7,870	7,390

(単位：人)

区分別延利用者数	居宅介護	行動援護	同行援護	移動支援	合計
令和5年度	6,041	102	471	776	7,390
令和4年度	6,165	106	492	845	7,608
増減	△124	△4	△21	△69	△218

★目標達成率：93.9%

有償サービス（制度外サービス）

・開所日数：366日 ・3月実利用者数：3人 ・延利用者数：78人（1日0.2人）  
（単位：人）

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	202	190	78

★目標達成率：41.1%

### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

#### 1 福祉に関わる人材の確保・育成（改）

- ・初任者研修実習生受入れ 松本大学 7人 志学館高校 10人 三幸福祉カレッジ 1人 実習受入れ時に大学3年生の生徒に登録ヘルパーの業務内容、待遇などの説明を行いました。
- ・介護職員初任者研修を計画しましたが、受講者がなく開催できませんでした。
- ・各種会議で訪問介護の現状について説明を行うとともに、福祉人材の不足状況改善のために担当者との話し合いを行いました。引き続き福祉人材の確保に努めます。
- ・事業所の業務改善をすすめ、研修を充実させ、働きたいと思える職場づくりに努めました。訪問介護の魅力を内外に伝え、引き続き人材の確保、育成に努めます。

#### 2 災害時の業務継続の啓発及び働きかけ（改）

- ・大規模災害時の対応について、ヘルパー全体で研修会を行うとともに、災害時情報伝達訓練を行いました。情報伝達の結果を検証し、伝達方法を改善しました。引き続き研修、訓練を実施するとともに、訓練後には検証して実効性を高めていきます。
- ・大規模災害時の備えについての啓発を行いました。災害時の備えについて下半期に利用者アンケートを実施しました。災害時の備えが不足している状況が明らかになりました。災害の備えについての啓発、働きかけを引き続き行います。

#### 3 感染症等拡大防止の取り組みの継続

- ・感染症拡大防止に向けた取り組みを、研修会などで、繰り返し取り上げることで、意識を高め職員の感染予防を徹底しました。
- ・職員、利用者ともにマスク、手洗い、三密の回避など基本的な感染対策を徹底し、感染症の拡大とまらないよう引き続き努めます。

## 2 訪問入浴ステーション社協ふれあい

(主財源：介護保険収入、障害者訪問入浴受託金収入)

－事業概要－

- 自宅での入浴が困難な人に、浴槽等を持参し、入浴介助を行います。

### 【 目 標 】

- 1 在宅生活での清潔保持と家族の負担軽減を図ります。
- 2 利用者・家族の満足度向上を図ります。
- 3 職員の質、チームワークを向上し、業務の安全と効率化を図ります。

### 【利用状況】

・開所日数：256日 ・3月実利用者数：25人 ・延利用者数：1,296人（1日5.1人）

(単位：人)

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	1,353	1,404	1,296

(単位：人)

介護度別 延利用者数	要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	障が い	合計
令和5年度	0	11	158	16	171	257	401	282	1,296
令和4年度	0	8	138	125	273	288	261	260	1,353
増減	0	3	20	△109	△102	△31	140	22	△57

★目標達成率：92.3%

### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

#### 1 利用者拡大の取り組み

新規利用者27名。上半期、人員不足があり訪問数が限られていたが、下半期に人員確保ができ受入れ人数を増やすことができた。障がいサービス利用者が増加した。訪問入浴を知ってもらうため障害施設を訪問し認知度を高めていきたい。

#### 2 アンケート調査の実施

アンケート集計結果は満足度95%。生活の不安に対する質問に対し、災害時の対応方法という記述があった。お便り等を通じ、災害に備えた準備物品などの情報を伝えていきたい。

#### 3 職員研修の実施（拡）

能登半島震災の入浴支援の実施過程で、必要物品などを職員間で話し合うことができ災害に対する意識が高まった。無事に入浴支援ができた。被災地での経験は、防災・減災のための行動や、地域の関係作りの大切さについて再認識する機会になった。地域資源としての訪問入浴事業という視点を持ち事業を実施していく。

### 3 訪問看護ステーション社協・ふれあい

(主財源：介護保険収入、医療保険収入)

－事業概要－

- 医療処置・療養生活の支援・心身の機能の維持回復を目的に、医師の指示を受けて看護師及び理学療法士が定期的に訪問を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 在宅での療養生活を支援します。
- 2 地域密着の事業所として人材育成を行います。
- 3 看護の知識・技術の向上を図り、利用者ニーズに合わせたケアを行います。

#### 【利用状況】

- ・開所日数：243日
  - ・3月実利用者数：81人
  - ・延利用者数：6,248人（1日25.7人）
- (単位：人)

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	6,389	6,084	6,248

(単位：人)

介護度別 延利用者	要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	医療	合計
令和5年度	140	1,484	501	1,005	373	435	1,071	1,239	6,248
令和4年度	164	1,379	695	883	301	587	1,041	1,339	6,389
増減	△24	105	△194	122	72	△152	30	△100	△141

★目標達成率：102.7%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 利用者のニーズに合わせたリハビリの実施

- ・在宅生活が継続できるよう、利用者のニーズに合わせた機能訓練を実施するとともに、3箇所のデイサービスに理学療法士が出向きプログラム作成やリハビリの実施、居宅訪問などを行いました。
- ・タブレットを有効活用し、情報共有をして訪問時のケアに活かしていきます。
- ・体制強化加算I（半年間で看取り5人以上）を6月から1月まで取得しました。

##### 2 職員研修の実施

- ・39か所の医療機関から指示書をいただき訪問をしています。
- ・精神疾患の利用者・ターミナル利用者への看護技術向上のため研修会に参加しました。事業所内でも事例の振り返りやカンファレンスを行い、専門的知識の習得や資質の向上に努めました。今後も継続していきます。

## (Ⅱ) すがのの郷

### 1 老人デイサービスセンター (主財源：介護保険収入)

#### ―事業概要―

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、機能訓練を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 利用者の健康・介護状況を把握し、その方に適したサービスを提供します。
- 2 利用者の希望、趣味や特技を生かしたレクリエーションの実施に加え、生活機能の改善に向けて取り組みます。
- 3 地域福祉を推進する施設として、地域の課題発見に努め、家族や地域との関わりの中で地域全体の課題として捉え、課題解決を図ります。

#### 【利用状況】 定員 25 人

- ・開所日数：360日 ・3月実利用者数：77人・延利用者数：6,406人（1日17.8人）  
(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	5,869	5,923	6,406

(単位：人)

介護度別 延利用者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	総合 事業	合計
令和5年度	1,084	1,970	1,019	996	142	1,195	6,406
令和4年度	1,172	1,781	819	1,026	167	904	5,869
増減	△88	189	200	△30	△25	291	537

★目標達成率：108% 新規 33件 中止 17件

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 地域生活を支えるデイサービス事業の実施

職員研修 「福祉避難所について」 2回

福祉避難所立上げ訓練 令和6年1月23日実施 参加者 20名

- ・塩尻市防災専門官を講師に、7月と11月に福祉避難所についての研修を行いました。1月には施設職員・地域の方とともに福祉避難所立上げ訓練を実施しました。BCPも完成したので、今後も定期的に研修及び訓練を行っていきます。

##### 2 身体機能の維持・向上に資するプログラムの提供

個別機能訓練加算 延 1,720人

職員研修 「口腔ケアについて」

・ デイサービス利用の目的を確認したうえで、ニーズがある方に個別機能訓練や口腔機能向上を目的とする口腔ケアを行いました。今後も、職員研修を定期的に行い、職員間で連携して身体機能の維持・向上に取り組めます。

### 3 介護相談、介護情報の提供

介護者交流会 1回 口腔ケアについての研修

元気づくり広場参加 2回 内容：介護予防体操・レクリエーション

地域への介護情報の提供 2回

・ 在宅での介護に役立つように、介護者交流会では研修を行いました。

また、地域の方にもすがのの郷を知っていただけるよう、元気づくり広場に参加し介護予防体操を紹介するとともに、地域での回覧文書にも介護情報を掲載しました。今後も、地域福祉推進の場としてすがのの郷を身近に感じていただけるよう情報を発信していきます。

### 4 ボランティア・実習生の受入れ

個人ボランティア 延 42人 芸能ボランティア 7回

松本歯科大学実習生 延 24人 塩尻中学校職場体験 1人

郵便局長会筑南部会 施設外清掃 1回

宗賀地区ボランティア雑巾寄付 70枚

・ 個人ボランティアの方が定期的に来ていただけるようになり、また芸能ボランティアの方もお越しいただくことで、デイサービスの雰囲気さがさらに和やかになりました。宗賀地区ボランティアは今年度で活動が終了するとのことでした。地域での福祉人材の育成は課題になっています。

### 5 地域包括ケアシステムへの協力

職員研修 「地域包括支援センターについて」

「虐待について、包括支援センターの対応等」

「地域での課題について」

・ 職員研修として、併設している西部地域包括支援センターの業務内容や、虐待対応での地域包括支援センターの役割を学びました。ケアマネジャーへのアンケートを基に、西部圏域での地域課題について現状を認識し課題解決への取り組みも学びました。今後も連携して、地域課題を発見し、解決のために取り組んで行けるよう、検討を行う場を設けていきます。

## 2 西部地域包括支援センター (主財源：市委託料)

### ―事業概要―

- 介護・医療・保健・福祉などの包括的な総合相談・支援・啓発
- 要支援者（総合事業による事業対象者を含む）へのケアマネジメント

### 【 目 標 】

- 1 地域包括ケアシステムの拠点として、高齢者をはじめ地域で暮らす皆さんの暮らしのサポートをします。
- 2 西部圏域の最も身近で何でも相談できる窓口となります。
- 3 地域の意見を幅広くお聞きすることで、地域課題を把握し、地域と連携してネットワークを構築することで課題解決を目指します。

### 【利用状況】

- ・開所日数：243日・3月実利用者数：332人・延利用者数：3,969人（1日16.3人）  
(単位：人)

区分		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	増減
総合事業現 行サービス A	直営	844	600	1,236	392
	委託	211	228	255	44
	計	1,055	828	1,491	436
介護予防支 援（要支援 1・2）	直営	963	780	1,143	180
	委託	1,454	1,476	1,335	△119
	計	2,417	2,256	2,478	61
合計		3,472	3,084	3,969	497

★目標達成率：128.6%

### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

#### 1 総合相談支援業務

総合相談件数 624件

・西部地域包括支援センター職員だけでなく、ふれあいセンター洗馬CSWとも連携しながら、総合相談を受け、課題解決のために必要なサービスへつなげ、定期的な訪問等を行っています。今後も3職種の専門性を生かし、他機関と連携しながら解決に向けて対応していきます。

#### 2 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

困難事例対応件数 21件

自立支援型地域ケア個別会議 1回

困難ケース事例検討会 1回

・社協の他事業所と困難ケース事例検討会や、自立を目指した支援について検討を

行う自立支援型地域ケア個別会議を開催しました。課題解決へ向けそれぞれの立場から専門的な意見をいただきました。今後も支援の質を高めていくためにも定期的な検討会を行っていきます。

### 3 認知症総合支援事業

オレンジカフェへの参加 7回  
檜の実 オレンジカフェ 6回  
洗馬地区チームオレンジ準備会 1回

・檜川地区での認知症に対する相談窓口として今年度から「檜の実オレンジカフェ」を開催しました。認知症になっても住み慣れた地域で見守られながら生活できるよう、地域の方が認知症に対する理解を深めるため洗馬地区でチームオレンジ準備会を開催しました。今後も啓発活動を続け、認知症の方に寄り添った支援ができるよう地域の方とともに取り組みます。

### 4 高齢者を地域で支える取り組み

民生児童委員協議会地区会・関係機関会議参加 20回  
交通課題解決プロジェクト 定例会議参加 7回

・定期的に民生児童委員協議会へ参加し、顔の見える関係を築くとともに、地域課題を共有してきました。また、交通課題について検討するプロジェクトに参加し、地域の現状を伝えてきました。安心して住み続けることができる地域となるよう、関係機関や地域の方と連携しながら取り組んでいきます。

### 5 介護・福祉の広報・啓発

西部地域包括支援センターチラシ配布 31件 西部圏域チラシ回覧 8回  
高齢者生きがい講座・元気づくり広場参加 22回

・地域への定期的なチラシ配布や、西部圏域での講座に参加することにより、施設を知っていただき、介護や福祉に関する啓発を行ってきました。今後も活動を続け、地域の多くの方に西部地域包括支援センターを知っていただき、活用していただけるようにします。

### 6 地域交流スペースの提供

檜の実開所日数 234日 来所者数 214人  
檜の実での講座開催 3回（特殊詐欺について・紙芝居の日）

・檜の実で特殊詐欺に関する講座を開催し、地域の方に参加いただきました。檜川図書館と共催で色々な世代の方に檜の実を知っていただけるよう紙芝居の日も開催しました。今後も檜の実が檜川地区の身近な相談の場となり、交流の場となるよう、定期的なチラシの地区回覧を継続するとともに、講座を企画していきます。

## (Ⅲ) 田川の郷

### 1 老人福祉センター（主財源：市補助金）

－事業概要－

- 地域の福祉活動拠点施設として関わりを深め、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの場を提供します。

#### 【 目 標 】

- 1 福祉避難所として災害時に役立つ拠点施設となります。
- 2 住み慣れた地域で、こころの拠り所となる居場所づくり・集まる場所となります。

#### 【利用状況】

・開所日数：244日 ・3月実利用者数：59人 ・延利用者数：8,268人（1日33.9人）  
（単位：人）

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
延利用者数	8,881	8,850	8,268

（単位：人）

延利用者数	団体	個人	講座	合計
令和5年度	0	8,268	0	8,268
令和4年度	0	8,881	0	8,881
増減	0	△613	0	△613

★目標達成率：93.4%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 地域支援

・丘中学校（カフェ丘）と協働し、空き部屋を活用した、子どもの居場所のきっかけ作りに取り組みました。今後も関係機関と連携しながら、地域づくりに取り組みます。

##### 2 地域との交流事業

・多世代がつながるきっかけづくりを目的に、「花火大会（夏祭り）」、「田川の郷あったまつり」を実施しました。地域の小学生の参加もあり、普段、関わることのない世代の交流の場になりました。

## 2 老人デイサービスセンター（主財源：介護保険収入）

### －事業概要－

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、口腔ケアや機能訓練を行います。

### 【 目 標 】

- 1 利用者の思いに寄り添いその人らしさを尊重した介護サービスを提供します。
- 2 住民に、交流・相談・学びの場を提供することにより、地域に根付いた信頼される施設を作ります。
- 3 研修参加と情報共有により、職員がスキルアップし、質の高いサービスを提供します。

### 【利用状況】 定員 25 人

- ・開所日数：360 日 ・3 月実利用者数：70 人 ・延利用者数：5,365 人（1 日 14.9 人）  
（単位：人）

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	4,287	4,800	5,365

（単位：人）

介護度別 延利用者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	総合 事業	合計
令和 5 年度	727	1,460	647	689	554	1,288	5,365
令和 4 年度	832	1,529	477	398	340	711	4,287
増減	△105	△69	170	291	214	577	1,078

★目標達成率：111.8%

### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

#### 1 個別機能訓練の充実実施（拡）

個別機能訓練加算（要介護）640 人、運動機能向上加算（要支援）142 人

個々の利用者の身体状況に合わせたプログラムを作成し、訓練を実施しました。

今後も、自宅や地域で安全に生活できるよう ADL の維持向上を目指します。

#### 2 総合事業利用者への利用促進実施（拡）

施設隣の畑を借用した農作業、囲碁や将棋、ピアノなど個々の生活歴や特技を生かしたメニューを考案しました。さらに、毎月新規企画（風呂のリニューアル、ハンドマッサージ、メイクの日など）を実施しました。

また、Zoom や YouTube などのオンラインによる外部イベントに積極的に参加しました。

### 3 充実した食事、おやつの実施

毎月「お楽しみ御膳」を提供しました。地域の方の協力により地元の米、野菜、肉を使用した食事を提供しました。

豆から挽いたコーヒー、かき氷バイキング、ドリンクバイキングなど利用者が自ら選択できるメニューを導入しました。

### 4 季節を感じる行事の実施

夏祭り、クリスマス、年末イベント、ひな祭りなどの企画を実施し「特別感、非日常」を味わっていただける施設づくりを行いました。

### 5 田川の郷の広報誌「田川の郷だより」の発行

「田川の郷だより」を一新し、施設の魅力を伝える広報誌としました。更に、配布の対象者（ケアマネジャー、利用者や家族）に合わせて紙面を変え、ターゲットに合わせたアプローチを実施しました。

また、社協 Instagram を活用した情報発信を行いながら、普段関わることのない層にも介護や福祉の魅力を発信しました。

### 6 経営分析及び数値目標の設定による経営の見える化

収支改善のために現状の経営分析を行いました。これを基に数値目標を設定し、経営に対する職員の意識づけを行いました。

## (IV) みどりの郷

### 1 老人デイサービスセンター (主財源：介護保険収入)

#### ―事業概要―

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、機能訓練を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 利用者の要望に沿った、個々のニーズに合わせた介護サービスを提供します。
- 2 地域住民との交流の機会をもち、心の活性化を目指します。
- 3 機能訓練及び口腔ケアの実施により、利用者の身体機能の維持・向上を目指します。

#### 【利用状況】 定員 25 人

- ・開所日数：360日
- ・3月実利用者数：65人
- ・延利用者数：6,642人（1日18.5人）

(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	6,389	6,790	6,642

(単位：人)

介護度別 延利用者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	総合 事業	合計
令和5年度	1,256	1,709	629	1,120	458	1,470	6,642
令和4年度	1,102	1,588	558	1,116	652	1,373	6,389
増減	154	121	71	4	△194	97	253

★目標達成率：98%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 介護相談

- ・介護者交流会実施 2回
- ・個別面談 15件

ご家族が抱える不安や、今後サービスを選択していく中で参考にさせていただけるように講演会を開催し、職員も共に学ぶことができました。

ご希望により個別面談の時間を設け、安心してゆっくりと話せる場を提供することができました。

日々のご利用状況やご自宅での様子等、情報を共有していくなかで、介護負担を軽減する糸口を見つけ取り組んでいきます。

## 2 ボランティア・実習生の受入れ及び地域交流事業

地区ボランティア

- ・東地区・堅石区 40回 77人
- ・郷原区 手作りクリスマスプレゼント

個人ボランティア 115人

松本歯科大学実習生受入れ 26人

塩尻中学校2学年 職場体験学習 1人

塩尻志学館高校福祉科 3人

広陵中学校交流会 1回 16人

イベント実施 18団体 18回 91人

- ・学生の福祉体験を受入れ、福祉の仕事を学ぶ機会を提供しました。
- ・個人、地区ボランティアの方々には継続的に活動をしていただき、利用者との交流の時間となっています。
- ・地域福祉推進センターと連携を図りながら、ボランティアの受入れ及び調整を行いました。地区ボランティアの活動継続については縮小や終了される地区もありますが、これまでの繋がりを大切に情報の発信をしていきます。

## 3 利用者、家族からの意見・ニーズの把握

- ・利用者、ご家族へのアンケート 1回
- ・個々のニーズに沿ったサービスが行えるよう、全職員が計画書の内容を把握することに努め、それぞれの思いに耳を傾けながら、より良いサービスへとつながるよう、ケアマネやご家族との情報交換を行いました。
- ・アンケートでいただいたご意見を検討し、事業運営に活かしていきます。

## 4 機能訓練及び口腔機能向上サービスの実施（改）

個別機能訓練加算 要介護：2,400人

口腔機能向上加算 要介護：919人、総合事業：82人 計 1,001人

- ・個別機能訓練では、5～6人のグループでの取り組みを実施しました。身体の状態に合わせ無理なく行い、身体機能維持を目指しプログラムを提供しました。身体機能の状況については、基本項目に沿って評価できるよう、研修を行い職員の平準化を図りました。
- ・口腔機能向上については、口腔内の状況を把握し、必要に応じ、市の歯科衛生士と連携して、口腔内のケアを受けることができるようにしました。
- ・口腔内の環境（痛み・義歯の調整等）の異常を早期に発見し、全身の健康状態を保つことができるよう取り組みます。

## (V) つくしの郷

### 1 老人デイサービスセンター（認知症対応型）（主財源：介護保険収入）

- 要介護・要支援認定を受けた人に昼間の一定時間を過ごしていただく中で、入浴や食事などの日常生活支援や相談、機能訓練を行います。
- 宿泊サービスを行います。

#### 【 目 標 】

- 1 認知症を抱える人やそのご家族が、地域で安心して暮らすことができる支えとなるために、安心・安定した経営を実施します。
- 2 利用者一人ひとりの理解を深め、ニーズに沿ったサービスを提供し、その人らしく在宅生活を送ることができるよう支援します。

#### 【利用状況】 定員 12 人

- ・開所日数：360日      ・3月実利用者数：28人
- ・延利用者数：3,479人（1日 9.7人）

（単位：人）

区分		R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	介護保険	3,109	3,410	3,479
	宿泊	232	240	352

（単位：人）

介護度別 延利用者数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	宿泊
令和5年度	0	0	1,113	814	408	331	813	3,479	352
令和4年度	0	0	895	450	286	779	699	3,109	232
増減	0	0	218	364	122	△448	114	370	122

★目標達成率：介護保険 102.0%      宿泊 146.7%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 機能訓練・口腔機能の実施

機能訓練	延	3,756回
歯科医師	来所	14回
歯科衛生士	来所	55回
口腔機能	延	483回

- ・機能訓練では、ラジオ体操や馴染みの歌に合わせた体操を取り入れながら、身体を動かす時間を増やし、身体機能維持に取り組みました。今後も個々の状態に合わせた目標・プログラムを提供していきます。
- ・口腔機能では、週1回、歯科衛生士の来所により治療の必要な状態や義歯の不具合など早期治療に結びつきました。歯科衛生士と連携をとり、口腔トラブルを解消し、残っている自分の歯で、美味しく楽しく食べていただけるよう口腔観察や嚥下維持を行っていきます。

## 2 ボランティア・実習生の受入れ

個人ボランティア	113人	読み聞かせ	10人
松本大学	3人	松本看護大学	6人
広陵中学	2人		
ステップアップ講座受講生（1期・2期）	9人		

- ・福祉・医療を目指す方達に、認知症を抱える方を理解し、関わり方や施設の特徴を学んでもらえました。
- ・地域で働く魅力を伝える場として様々な職種や・様々な世代の方を受入れ、人材育成を目指します。

## 3 地域交流事業の実施

ふれあい広丘・つくしまつりの開催

- ・地域の方につくしの郷を知っていただく機会となりました。

## 4 つくしの郷広報誌「つくしの郷からこんにちは」の発行 [ 12回 ]

つくしの郷おたより 12回発行

- ・お便りを通して、活躍していた頃のエピソード等、ご家族から伺い、そのエピソードを参考に個別支援に繋げることができました。
- ・ご家族からの情報提供・施設から情報発信となる内容を掲載していきます。
- ・ホームページの更新を随時行います。

## 5 研修の実施

### (1) 内部研修

口腔ケア研修（歯科衛生士）	13人
機能訓練研修（理学療法士）	8人
認知症研修（精神科医師・介護福祉士）	27人

### (2) 外部研修

認知症介護実践者研修	2人
虐待防止研修	2人
身体拘束研修	2人
高齢者のための口腔ケア研修	2人

- ・職域を広げて参加者を募り、研修会を実施しました。
- ・今後も利用者の「できる事」に着目した支援・ご家族の思いに沿った支援を提供できるよう研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップとサービスの質の向上を目指します。

## 2 認知症予防推進（主財源：市受託金）

### －事業概要－

- 認知症高齢者を在宅で介護している家族に代わり、見守りや話し相手になる「やすらぎ支援員」を派遣します。
- 認知症サポーター養成講座等の開催

### 【 目 標 】

- 1 地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人が地域で安心して暮らしていくことができるよう支援をします。

### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

#### 1 やすらぎ支援員の派遣

派遣回数 82回

登録者数 4人

やすらぎ支援員研修 4人

- ・認知症ステップアップ講座を受講した方が、やすらぎ支援員として、地域で認知症の方を見守る活動に協力してもらえるようになりました。
- ・介護者の精神的負担の軽減・ご本人と地域とのつながりを支援していきます。

#### 2 認知症の啓発、人材育成

認知症サポーター養成講座 実施回数 2回

参加者数 38人

認知症ステップアップ講座 実施回数 4回

参加者数 41人

- ・幅広い世代に認知症を理解していただけるよう努めていきます。

## (VI) 居宅介護支援事業所社協ふれあい

### 1 居宅介護支援事業所 (主財源：介護保険収入)

#### ―事業概要―

- 在宅で介護の必要な人が、適切な介護サービスを利用できるように介護支援専門員（ケアマネジャー）が、ご本人、ご家族のご希望を伺いながら「ケアプラン」を作成します。
- 介護や福祉の総合相談や地域への啓発活動を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 利用者・家族の意向を尊重し、自己実現・自立支援の視点を大切に、在宅生活が継続できるように支援します。
- 2 多種多様な相談・ニーズを踏まえた質の高いケアマネジメントを提供できるように、自己研鑽を図ります。
- 3 様々な支援機関、多職種等との連携関係を築きます。

#### 【利用状況】

・開所日数：243日 ・3月実利用者数：294人 ・延利用者数：3,542人（1日14.6人）  
（単位：人）

区分	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
介護	2,319	2,328	2,219
要支援（市受託）	1,256	1,152	1,323
合 計	3,575	3,480	3,542

（単位：人）

介護度別 延利用者数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和5年度	484	839	639	732	424	223	201	3,542
令和4年度	425	831	766	694	441	244	174	3,575
増減	59	8	△127	38	△17	△21	27	△33

★目標達成率：101.7%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 事業所・職員の資質の向上

(1) 会議の実施 定例会議 週1回

(2) 研修の実施

事業所内研修の実施 21回

介護支援専門員勉強会に参加 10回

他法人との協同で行う事例検討会に参加 6回

・利用者情報等の伝達のための会議を週1回行いました。介護保険法の法令遵守とともに内外研修等に可能な限り参加し、事業所内での伝達研修等により情報を共有し職員の資質向上を図りました。

## 2 介護・福祉の相談、啓発活動

檜川出張所（檜の実）、福祉相談 13回

ケアマネジャーだよりの発行 月1回

ホームページへの掲載 12回更新

・地域包括支援センター、サービス事業所等に事業所内のPRを行い利用者拡大に取り組みました。

## 3 多職種との連携推進

入院時連携 57件 退院、退所連携 22件 通院時情報連携 22件

予防委託連携 38件 法人内サービス事業所連絡会議 12回

・地域包括支援センター、医療機関、サービス事業所等の会議出席や情報共有を実施。介護保険サービスと地域の社会資源、近隣や地域社会及びボランティアによるインフォーマルサービスを組み合わせながら支援しました。

## 4 災害時の業務継続の計画の啓発

災害発生時の優先順位の高い人から安否確認を行う支援体制の確認2回実施。

・平常時から利用者ごとの災害時の課題に向けた対策を検証しながら災害時においても生活が継続できるよう災害への備えについての啓発を行い今後も継続してまいります。

## 5 アンケート調査の実施（拡）

・利用者、家族、各サービス事業所からのニーズ把握を行い、職員の資質、事業所の対応等について利用者、家族、各サービス事業所への満足度アンケートを実施し、頂いた意見を検討しより良い対応ができるよう取り組みを行います。

## 6 実習生の受け入れ

介護支援専門員実務者研修の実習の受け入れ 2人

・介護支援専門員実務研修の科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」等協力を行い指導することで自己研鑽に繋がりました

## (Ⅶ) すみれの丘

### 1 地域活動支援センターすみれの丘 (主財源：市受託金)

#### —事業概要—

- 障がい者が地域で自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう相談、創作活動や交流事業を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 生きがいを感じ、楽しく参加できる講座とします。
- 2 障がい者又はその家族が、気軽に相談できる窓口であると同時に、他機関と連携しながら地域で安心して暮らすことができるよう支援します。

#### 【利用状況】

##### 【講座】

(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	636	780	771

★目標達成率：98.8%

##### 【障害者相談】

(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	309	400	406

★目標達成率：101.5%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 講座の開催

- ・コロナ禍前と比較し70%ほどに回復してきているが、更なる利用回復のため、内容の周知方法、講座内容の充実等の検討が必要です。

##### 2 交流の場の設置

- ・ひきこもりがちな方を対象に開設している「ほっと一息みんなの居場所」、一般就労をしている方たちの交流会「いちご会」を開催しているが、参加者が固定化している為、関係機関や障がい者雇用をしている企業等との連携が必要です。

### 2 生活介護事業所すみれの丘 (なずなの家)

(主財源：障害福祉サービス収入)

#### —事業概要—

- 重度の障がい者が、昼間の一定時間を過ごしていただく中で、日常生活の支援(入浴・食事・排せつ等)を行います。
- 創作的活動等の機会を提供し、身体能力や生活能力の向上のための支援を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 利用者、家族、関係機関と情報共有し、信頼関係を深めます。
- 2 実習や体験利用を積極的に受入れます。
- 3 個々のニーズに沿った入浴サービスを提供することで利用者が快適な生活を送ることができるよう努めます。

【利用状況】 定員 20 人

・開所日数：244 日 ・3 月実利用者数：24 人 ・延利用者数：3,421 人（1 日 14.0 人）  
（単位：人）

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	3,027	3,336	3,421

★目標達成率：102.5%

### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

#### 1 屋外活動

- ・外食に出かけ、タブレット端末を使った注文や支払いを体験することで、IT 化に対応できるよう支援しました。今後も PC などを使用した支援を検討していきます。

#### 2 地域との交流

- ・4 名のボランティア、2 名の学生実習を受け入れることで、地域との交流、障がい理解を深めていただく取り組みをしました。

#### 3 災害時に備えた訓練

- ・災害時に家を離れて寝泊りすることを想定して宿泊体験を実施しました。来年度に向けて宿泊環境、職員体制等の整備を進めていきます。

#### 4 職員研修の実施

- ・事例検討やロールプレイの実施、外部研修への参加、他のデイサービスでの現場実習への参加を通して、障がい理解を深め、介護技術の向上を図りました。

#### 5 施設の改修（新）

- ・改修工事により、支援室を 1 部屋設けたことで、個別の対応ができるようになり、安全面確保も容易になりました。また、落ち着いて過ごすことができるようになった方も増えました。今後も個別支援に力を入れていきます。

## 3 児童発達支援事業所あすなろ園（主財源：障害福祉サービス収入）

－事業概要－

- 心身の発達に障がいや心配のある児童の通所を受入れ、支援計画に基づいた支援を行います。

## 【 目 標 】

- 1 一人ひとりの成長に合わせた支援・相談を行います。
- 2 家族の気持ちに寄り添い、相談できる体制を作ります。
- 3 放課後デイサービスを希望する児童の増加に伴い、受入れできるよう環境と体制づくりを行います。

## 【利用状況】 定員 10 人

・開所日数：243 日・3 月実利用者数：48 人・延利用者数：2,164 人（1 日 8.9 人）

（単位：人）

区 分		R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	児童発達支援	672	856	678
	放課後等デイ	1,280	1,514	1,486
合計		1,952	2,370	2,164

★目標達成率：児童発達 79.2% 放課後等デイ 98.2%

## 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

### 1 集団療育、個別支援

- ・児童発達支援については、12 月から作業療法の個別訓練が再開し相談・利用者が増加傾向ですが、計画相談が不足しているため待機している児童が増えています。市の担当課（福祉課・健康づくり課・こども未来課・こども課）に相談し、早期に利用できるよう努めます。
- ・放課後等デイサービスの利用者が増加傾向であるため、就労支援事業所移転後のスペースを遊戯室として広く確保することで、安全に遊ぶことができました。今後は職員体制の充実、定員の変更等支援体制を強化して行きます。

### 2 ことばの教室

- ・この 2、3 年で急激にニーズが高まっており、3 月末時点で 8 名の待機児童がいます。市担当課と対応を協議すると共に、人材確保を進める必要があります。

## 4 指定相談支援・障害児相談支援（主財源：障害福祉サービス収入）

### －事業概要－

- 障がい児者が障害福祉サービスを利用することにより、地域で安心して生活を続けることができるようサービス等利用計画を作成します。
- サービス等利用計画に基づくサービスが適正に提供されるよう関係機関と連携し、支援します。

## 【 目 標 】

- 1 ニーズを的確に把握し、その人の長所や得意なことをいかし、その人らしい生き方ができるような計画を立てます。
- 2 地域で安心して生活ができるよう他の機関や支援者と連携し、利用者の変化に的確に対応します。

## 【利用状況】

・開所日数：243日 ・3月実利用者数：54人 ・延利用者数：682人（1日2.80人）

## 【計画作成・モニタリング】

（単位：人）

区 分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	623	650	682

★目標達成率：104.9%

## 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

### 1 地域お話し会の実施（改）

- ・ふれあいセンター東部のCSWと連携し、両小野中学校で開催することができました。子どもたちから積極的な質問があり、障がい理解を深めることができました。

### 2 塩尻・山形・朝日圏域障がい者相談支援事業受託

- ・総合相談支援事業（主に個別ケースの対応）と基幹相談支援事業（主に自立支援協議会の運営等）となり、業務の負担が増えているため、構成法人、市担当課との協議、調整が必要です。

### 3 事務所移転に伴う相談室の確保（新）

- ・9月に改修工事が完了し、会議室兼相談室が確保できました。

## 5 就労継続支援B型すみれの丘（主財源：障害福祉サービス収入）

### ―事業概要―

- 一般就労が困難な障がい者等に、就労や生産活動の機会を提供します。
- 知識及び能力の向上のために必要な訓練や支援等を行います。

## 【 目 標 】

- 1 一人ひとりの気持ちを受けとめ、特性に合わせた支援を行います。
- 2 働く中で、楽しさややりがいを感じることができるよう支援します。
- 3 障がい者への理解が深まるよう、地域へ出て交流の機会を作ります。

**【利用状況】** 定員 25 人

- ・開所日数：244 日・3 月実利用者数：24 人・延利用者数：5,475 人（1 日 22.4 人）  
（単位：人）

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	5,851	6,150	5,475

★目標達成率：89.0%

**【月平均工賃】**

（単位：円）

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
1 人当りの支払額	7,380	8,000	10,558

★目標達成率：131%

**【事業実施状況、評価、今後の方向性】****1 生産活動の実施**

- ・今年度から「Sumire Flower」（花の販売）を開始しました。通所者の仕事として確立できるよう進めていきます。

**2 地域との交流事業**

- ・地域のおまつりなどが再開され、自主製品の販売機会が増加し、地域の方との交流の機会も増えました。また、学生ボランティアも延べ 30 人受入れることができ、施設の活性化につながりました。

**3 職員研修等の実施**

- ・事例検討会を行うことで、利用者理解を深め、支援に繋げることができました。また、朝夕に職員の申し送りを行い、情報共有を徹底したことで、業務をスムーズに進めることができました。今後は障がい理解について研修を進めていきます。

## (Ⅷ) そよ風の家

### 1 就労継続支援B型 (主財源：障害福祉サービス収入)

#### ―事業概要―

- 一般就労が困難な障がい者に、就労や生産活動の機会を提供します。
- 知識及び能力の向上のために必要な訓練や支援等を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 利用者の思いや希望を大切にし、安心して通所できる環境づくりに努めます。
- 2 作業を通して社会参加を促し、生きがいや達成感を感じることができるよう支援します。
- 3 関係機関との連携を密にし、利用者一人ひとりを中心にした支援を行います。

#### 【利用状況】 定員 20 人

・開所日数：243 日 ・3 月実利用者数：33 人 ・延利用者数：4,985 人（1 日 20.5 人）  
(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	4,807	4,880	4,985

★目標達成率：102%

#### 【月平均工賃】

(単位：円)

区分	R4 年度実績	令和 5 年度目標	R5 年度実績
1 人当りの支払額	9,353	10,000	15,119

★目標達成率：151%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 生産活動の実施

作業内容、作業量等に変化はありませんが、職員、メンバーの入れ替わりがあり、作業に慣れるまで時間がかかっています。早く作業に慣れるように、個々のメンバーのアセスメントや作業マニュアルを活用します。

##### 2 生活支援

個々のメンバーにあわせた支援を心掛けます。障がい特性の理解や支援方法の検討が必要です。個別支援計画を作成、関係機関との連携などにも力を入れていきます。

##### 3 各種行事の開催

コロナ禍の影響もあり、外食ではなく、テークアウトを行いました。

5類移行後は、外食（ラーメン、お好み焼き、お寿司）することができました。今後も利用者の希望を聞きながら、外出などのお楽しみを増やしていきたいと思えます。

#### 4 地域との交流事業

- ・「すみれそよ風まつり」の開催。大勢の方の参加がありました。
- ・販売会も徐々に増えてきています。参加21回  
今後、なるべく多くの販売会に参加ができるように、職員、利用者、販売品等の準備ができる体制づくりを行います。販売を通して、地域の方との交流の機会としていきたいです。
- ・高次脳機能障害の方とご家族のグループワーク（ぴんぽ～んの会）を関係機関と協働して開催しました。（そよ風の家利用者1家族 参加）

#### 5 職員研修の実施

- ・長野県障がい者虐待防止・権利擁護研修運営委員会 1人
- ・自立支援協議会フォーラム 1人

## (区) みどりが丘

### 1 就労継続支援B型 (主財源：障害福祉サービス収入)

—事業概要—

- 一般就労が困難な障がい者に、就労や生産活動の機会を提供します。
- 知識及び能力の向上のために必要な訓練や支援等を行います。

#### 【 目 標 】

- 1 社会との接点である居場所を利用者に提供します。
- 2 利用者の夢と可能性の実現を応援します。

【利用状況】 定員 20 人

・開所日数：243 日 ・3月実利用者数：25 人 ・延利用者数：4,187 人（1日 17.2 人）  
(単位：人)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
延利用者数	4,634	4,700	4,187

★目標達成率： 89.0%

#### 【月平均工賃】

(単位：円)

区分	R4 年度実績	R5 年度目標	R5 年度実績
1 人当りの支払額	8,537	11,000	16,170

★目標達成率： 147%

#### 【事業実施状況、評価、今後の方向性】

##### 1 生産活動の実施

外勤作業、コロナ禍で中止になっていた清掃箇所が再開。また、新規で2箇所除草などの作業をいただきました。

最低賃金や物価の上昇に合わせて、作業工賃の見直しをお願いしました。

内勤作業、定期的に5種類の作業をいただくことができました。作業量が安定したことで、常に利用者が作業を行う体制ができました。

##### 2 生活支援

- ・社会生活に必要な体調の管理、時間の管理、日常的なマナーなど、日々の通所を通して習慣化できるように支援を行っています。
- ・個々の目標を明確化して、個別の支援を行います。

### 3 他機関との連携

高次脳機能障害の方とご家族の支援の場づくり、関係機関と連携してグループワークを実施しました。

- ・ぴんぽ～んの会・・・3回

### 4 個別支援計画の作成

個々の希望に応じた支援を行いました。居場所、一般就労、それぞれの目標に向けた支援を実施しました。

### 5 各種行事の開催

- ・グリーンカフェ（少人数で気軽なおしゃべりの場）・・・8回
- ・お楽しみ外食（レストラン、ラーメン、クレープなど）・・・4回
- ・歯科講話（歯の大切さブラッシングの方法 など）・・・1回
- ・おつかれさま会（忘年会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
- ・そば会・お楽しみ会（新年会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

### 6 地域との交流事業

すみれ・そよ風まつりへ参加。飲み物、ポップコーン、自主製品の販売を行いました。

### 7 職員研修の実施

研修情報を回覧して、全職員に研修の機会を提供し、研修を活用して職員の資質の向上を目指しました。

- ・就労支援基礎研修（3日間） 1人
- ・高次脳機能障害研修 1人
- ・自立支援協議会フォーラム 1人
- ・虐待対応、障がいの理解など（DVDや動画を使った研修実施）